

7. ワールドカフェ・総会・富山宣言
(10/17～10/18)



15th World Congress
in TOYAMA
The Most Beautiful Bays
in the World

October 16-20, 2019

ワールドカフェ



15th World Congress
in TOYAMA
The Most Beautiful Bays
in the World
October 16-20, 2019

日時: 10月17日(木) 8:30~12:00

10月18日(金) 9:00~12:00

会場: 富山国際会議場 2F「多目的会議室201・202」

主催: 世界で最も美しい湾クラブ

湾クラブのこれまでの活動を振り返り、今後のビジョンについて話し合うための「ワールドカフェ」が今回の総会で初めて実施されました。

総会テーマ「未来への展望～沿岸域の持続可能な発展のための環境保全～」のもと、気候変動やクラブの戦略的運営、加盟湾同士のコミュニケーションの促進など10テーマについて各湾参加者がグループに分かれて議論し、富山湾からも3名が参加しました。

議論終了後には、各グループホストが議論の経過を説明し、湾クラブが今後優先的に取り組む事項について参加者による投票が行われました。



ファシリテーターによるワールドカフェについての説明



グループに分かれて熱心に議論



議論に集中する高桑美しい富山湾クラブ理事・事務局長ら参加者



グループホストによる発表



議論のとりまとめ



参加者による投票

総会



15th World Congress
in TOYAMA
The Most Beautiful Bays
in the World
October 16-20, 2019

日時: 10月18日(金) 13:30~17:20

会場: 富山国際会議場 2F「多目的会議室203・204」

主催: 世界で最も美しい湾クラブ

言語: 英語、仏語、日本語(日英、日仏の同時通訳あり)

議事

湾クラブ名称変更の提案

→ 「Club」を削除、新たに「Association」を加えることを検討

退会の可否についての投票(アメリカ サンフランシスコ湾、クロアチア サカルン湾)

加盟立候補湾によるプレゼンテーション(フィリピン ブジャダ湾、ベトナム ランハ湾)

新規加盟湾への加盟証書授与(モロッコ ダクラ湾、フランス ラ・シオタ湾)

名誉メンバー(ミシェル・ポーリー氏)への証書授与

2021、2022、2023年の総会開催地の提案及び募集

→ 2021年イスラエル エイラート湾、2022年カンボジア カンボジア湾、2023年韓国 麗水湾に決定

2020年総会開催地の承認

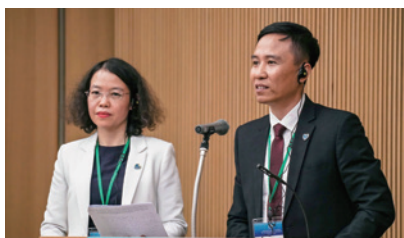
→ モロッコ ダクラ湾に決定

富山宣言採択

本総会にて2湾(モロッコ ダクラ湾、フランス ラ・シオタ湾)が加盟、2湾(アメリカ サンフランシスコ湾、クロアチア サカルン湾)が退会となり、加盟湾は27か国・地域44湾から25か国・地域44湾となりました。



加盟立候補湾 フィリピン ブジャダ湾の
プレゼンテーション



加盟立候補湾 ベトナム ランハ湾の
プレゼンテーション



名誉メンバー ミシェル・ポーリー氏への
証書授与



新規加盟湾 モロッコ ダクラ湾への
加盟証書授与



新規加盟湾 フランス ラ・シオタ湾への
加盟証書授与



発言する参加者



会場の様子

富山宣言



15th World Congress
in TOYAMA
The Most Beautiful Bays
in the World
October 16-20, 2019

「ワールドカフェ」での議論を踏まえた成果の骨子が、主要なメンバーにより取りまとめられ、10月18日の総会において湾クラブの設立以来初の「富山宣言」として参加者全員の合意により採択され、世界に向けて発信されました。



「富山宣言」採択後の石井知事による挨拶



拍手に包まれた会場



「富山宣言」採択後、湾クラブ役員らと石井知事

記者会見

総会終了後、湾クラブのブジョルド理事長、グル書記長、ルセ会計、ボダード事務局長と石井知事が共同記者会見を行い、ブジョルド理事長からは「湾クラブとして初の宣言となる富山宣言の採択が実現できた。この宣言により我々の活動の方向性が示され、国際的な舞台でより結束した活動ができる団体になった」、石井知事からは「『富山』の名を冠した『宣言』が採択され、世界に発信していただけたことは、富山湾の自然環境の保全や湾岸域の活性化・観光振興に積極的に取り組んできた本県にとって大変有難く、また名誉なことである」との発言がありました。



左から石井知事、ブジョルド理事長、グル書記長、ルセ会計、ボダード事務局長



富山宣言

前文

世界で最も美しい湾クラブに加盟している15カ国・地域からの29湾は第15回世界大会のため、2019年10月16日から20日、ここ日本国富山県に集い、

- ・初めての日本開催であることと、本組織での富山湾及び他の日本の加盟湾の大事さと、将来における他湾と現代の生活環境における課題に対峙する重大な貴重な役割を認識し、
 - ・本イベントに対する富山県の多大な貢献及び富山県民の美しい自然環境保護へのたゆまぬ努力を称賛し、持続可能な開発目標(SDGs)の実現に向けた北西太平洋地域における環境・エネルギー先端県としての富山県の努力を認識し、
 - ・多角的な交流、経験や知見の共有、及び住民における社会的、文化的、スポーツ的、商業的・産業的な交流についての関わりを再確認し、
 - ・各加盟湾の環境・保全状況の向上を促進するための持続可能な開発基本理念に忠実であることを再確認し、
 - ・その加盟湾の環境・経済・社会的な発展と保全の目的の達成を可能にする研究成果の提供を再確認し、
 - ・問題への意見表明の際には、地域・国・国際的認識のもと、開かれた討論の場の利用を可能とするとともに、加盟湾のまとめ役、リソース、発信者として常に積極的に結束して行動する意思を確認し、
- 我々は、加盟湾間が反省、提案、願望を表した後、第15回世界大会を締めくくるにあたり、下記分野に我々の精力と努力を可能な限り傾注し、優先することに合意したことをここに宣言します。

2019年10月18日

- 1) 加盟湾間で知見を共有すると共に、特に国際湾環境デー等の企画への参加や南北の湾の連携企画への参加を奨励する事により、各加盟湾と運営上の意思疎通を強化し、
- 2) 持続可能な開発を優先しつつ、本組織を設立した基本的理念と基準に沿って国際舞台での役割を果たし、国際フォーラムへの参加を増やし、
- 3) 本組織の基準に適合する国際的な公機関及び民間機関との財政的連携構築奨励によりその国際的ステータスを強固なものにする。

富山宣言について

「世界で最も美しい湾クラブ」の1997年の設立以来、20年を超える活動を振り返り、今後のビジョンを議論し、湾クラブとしてさらなる発展のための優先事項を決定するため、今回の世界総会で初めて「ワールドカフェ」が導入されました。

2日間の熱心な「ワールドカフェ」での議論を踏まえた成果の骨子が、湾クラブの設立以来初の「富山宣言」として採択されました。

富山宣言では、世界の加盟湾の沿岸域が直面している地球温暖化を含めた気象変動などの課題解決に向けて、湾クラブとしての今後の方向性や活動方針を明確にし、国際的な舞台で結束して活動を行い、国際的役割を果たす団体となる決意等が表明されています。



Toyama Declaration Preamble

We, members of the Most Beautiful Bays in the World Association, representing 29 bays from 15 different countries, gathered in General Assembly between October 16 and October 20, 2019, in Toyama, Japan, for the 15th World Congress of our organization;

- Acknowledging the holding of this congress for the first time in Japan, and confirming the privileged place occupied by the Bay of Toyama, with its Japanese sister bays, within our organization, as well as the important role they are led to play, with bays from other regions of the world, in facing the current challenges of our living environments;
- Commending the generous contribution of Toyama Prefecture to this event, the sustained efforts of its people to preserve its natural beauty and recognizing Toyama Prefecture's efforts as a leader in environmental conservation and energy in the Pacific Northwest region towards the realization of the Sustainable Development Goals (SDGs);
- Reaffirming our commitment to multilateral exchanges, transfer of experience and expertise, as well as social, cultural, sporting, commercial and industrial exchanges between our populations;
- Reaffirming our commitment to the fundamental principles of sustainable development in order to promote the preservation or improvement of the environmental and protective conditions of each member bay;
- Reaffirming our willingness to provide access to research and scientific studies that will enable us to achieve the objectives of their preservation and touristic, economic and social development;
- Confirming our willingness to act, in constant active solidarity, as a facilitator, resource and disseminator for our member bays on the basis of a local, national and international recognition that allow us to use public forums to express our views on issues of concerns;

We declare, in the continuity of the reflections, ideas and wishes that we have expressed together, that we have agreed, at the conclusion of this 15th World Congress, to devote our energies, and to commit ourselves, as far as possible, to prioritizing the following areas of development:

- a. Strengthening communications between each member and the organization's governance, in particular by encouraging the emergence of mobilizing projects such as an international day of bays for the environment and by encouraging the emergence of North-South partnership projects as well as the exchange of expertise between each member;
- b. Fulfilling its role on the international scene and strengthening its participation in international forums in line with the fundamental principles and criteria that have founded the organization, with priority given to sustainable development;
- c. Consolidating its international status by promoting the development of financial partnerships with international public organizations and private organizations whose objectives are compatible with the organization's criteria.

Toyama, October 18, 2019